



# News Letter

5

昭和女子大学 現代ビジネス研究所 | ニュースレター |

Greeting

## 所長挨拶

昭和女子大学現代ビジネス研究所  
所長 久原 正治

昭和女子大学現代ビジネス研究所は、産業界・地域と連携するこれまでにない革新的な教育・研究環境の創出を目指して、女子大として初めてのグローバルビジネス学部の新設と同時に2013年4月に開所されました。3年目に当たる2015年度は、18名の新たな研究員を迎え、80余名のビジネス経験豊富で多様な学外の研究員、関連教員、学生、事務局により、大井町創生事業、早川書房との文庫新レーベルプロジェクト、資生堂との共創プロジェクトなどの新しい形で大学と企業が組んだものなど様々な共同プロジェクト、大学から研究員に委嘱した調査プロジェクト、研究員の研究活動(うち11件は大学より研究資金提供)、研究員による研究交流会(全11回の研究サロン開催)、研究員がビジネスデザイン学科開講の「ビジネス研究」の授業に出演(25名)、研究セミナー・公開講座(各2回開催)など、大変活発な活動が行われました。これらの大半が学外にも公開され、開かれた大学を体現し、外部の実践知と大学の持つ知識を結びつける当研究所の諸活動は、今後の社会での活躍が期待される女子大生の新たなビジネス教育・研究のモデルとなっています。

最後になりますが、私はこの3月末で2年の任期を終え新所長にバトンタッチします。この間の皆様方からいただきましたご支援に感謝し、御礼申し上げますと共に、新所長の下で本研究所が一層発展することを祈っております。

## ▶ 公開講座

### 「環境問題をめぐる リスクコミュニケーション」

日時: 2016年2月6日(土) 15:30~17:00

会場: 80年館5L44教室

講師: 上智大学地球環境学研究所 教授(法学博士)  
織 朱實氏

講義では、まずリスクの大きさの定義として、《有害性×暴露性》という二つの要素の積であることを示して、次に、《損害vs頻度》のマトリックスの中で対応方針が定まること、そして頻度は小さいが、損害が大きい場合こそ、リスクを伝える技法としてリスクコミュニケーションの出番であるとした。

次に、リスクコミュニケーションの定義として、「個人、集団、組織間でのリスクに関する情報および意見の相互プロセス」があげられ、その成功とは「関係者間の理解と信頼のレベルが向上すること」(完全な理解ではない)とした点に、理解が得られた。また、リスク問題が、理屈では決められないモラル問題にすりかえられることで、リスクコミュニケーションが成りたなくなるという指摘は、環境問題をめぐる昨今の社会的現象と比較して、説得力がある指摘であった。

さらに、リスクの認知と評価についての主観的認識が大きく異なるなかで、上記の目的をどう達成するかについての、織教授の現場経験に裏打ちされた(時にユーモラスな)指摘は、実務にも役立つものであった。

リスクコミュニケーションは、客観的リスクの評価や分析にとどまらず、リスクの最終的引受け手である一般市民との、社会・心理・政治学上の関係性を絡めた考察を必要とする広がりのある学問分野であると同時に、日常生活での上司や顧客との交渉、説得や報告の技術にも応用できる、との知見が得られた講義であった。(文責: 研究員 太田行信)



## ▶ 研究セミナー

# 「女性が活躍できる社会の実現に向けて —昭和女子大からの提言—

日時:2015年12月12日(土)15:30~17:00

会場:80年館オーロラホール

国連のSDGs、内閣府「女性の活躍加速のための重点方針2015」が発表されたが、ジェンダーギャップ指数はまだ低い日本で、働く女性の一員でもある本学女性教員が、「女性の活躍」のために何が必要なのか、それぞれの専門分野から提言をし、参加者と共有する。

### ◇登壇者

学長・ビジネスデザイン学科教授／坂東眞理子:進行と総論

キャリア支援部長・福祉社会学科教授／森ます美:「女性の活躍」を推進する政策パッケージ

副学長・環境デザイン学科教授／小原奈津子:理系分野で活躍する女性の育成と課題

福祉社会学科科長・教授／北本佳子:福祉社会における女性の活躍

ビジネスデザイン学科特命教授／今井章子:女性実務家教員が高等教育で果たす役割

心理学科専任講師／本田ハワード素子:昭和女子大学社会人メンターインタビュー調査から見る女性の働き方

本研究セミナーは、昭和女子大学で活躍する女性教員が、「女性の活躍」のために何が必要なのか、それぞれの専門分野から提言し、広く社会に発信すべく開催された。

冒頭、坂東眞理子学長より、総論として、女子大の社会的使命というテーマを掲げられ、女性が活躍する具体的なロールモデルを示すこと、また女子学生にとって役に立つ情報を提供していく必要性についてのお話があった。

次に、森ます美キャリア支援部長・福祉社会学科教授より、安倍内閣の下「女性活躍推進法」の制定等が行われたものの、一億総活躍という目標が掲げられ以降、「女性の活躍」は影が薄れてきているのではないかと懸念が示された。

続いて、小原奈津子副学長・環境デザイン学科教授より、理系分野で活躍する女性の育成と課題に関し、理系女子を増やすためには、男女に関係なく理論を実証する楽しさを子どもたちに伝えられるような教育内容の転換が必要であるとの見解が示された。

北本佳子福祉社会学科科長・教授からは、福祉分野は女性が活躍しやすい分野であり、女性の視点を活かした社会福祉型リーダーの育成が重要であるとの意見が述べられた。

今井章子ビジネスデザイン学科特命教授は、女性の活躍推進のためには政策と教育の両輪で取り組む必要があること、また学生たちにとって重要なのは耐性を身につけることだと強調された。

最後に、本田ハワード素子心理学科専任講師から、女性のリーダーシップ育成においては、多様なリーダーシップの経験やフォローアップの成熟も必要であるとの意見が述べられた。

各10分という限られた時間ながら、内容の凝縮された発表を聴き、フロアからも多くの質問が集まった。とりわけ、ロールモデルとしての母親の役割、幼稚園から大学までの教育機関を擁する昭和の特性を活かした教育の可能性についてなど、登壇者の発表にはなかった新たな視点でのコメントもあり、全体として非常に密度の濃いセミナーであった。(文責:研究員 澄田知子)



## 秋桜祭

日時:2015年11月14日(土)、15日(日)  
10:00~16:00  
会場:80年館西棟5S43教室



現代ビジネス研究所では2回目の秋桜祭(昭和女子大学文化祭)参加となりました。研究員の企画委員を中心に企画を練り、現代ビジネス研究所を多くの方に知っていただくために、パネル展示を企画しました。現代ビジネス研究所、昭和デザインオフィスの紹介パネルと、各研究員の研究やプロジェクトを紹介するパネル(7グループ)、また2014年度のパネルを展示しました。秋桜祭当日は企画委員やパネルを展示している研究員が来場者に説明をし、両日とも盛況でした。

## 研究員サロン

現代ビジネス研究所では月1回研究員サロンを開催しています。毎回研究員や本学教員が発表をし、その発表に対して議論をします。発表内容は助成金採択者の中間報告や、研究員自身の研究報告等、内容は多岐に渡ります。



開催日	テーマ	発表者
10/16	ポスター発表の方法	山田麻以助教
11/19	コーポレートガバナンスコード	太田行信研究員
12/2	若年層の携帯依存は本当か? 携帯依存の本当の問題点	豊永真美研究員
2/17	研究員サロンのあり方についてのディスカッション	研究員企画委員
3/3	観光地的価値の増減と観光地の盛衰について	安島博幸工学博士

## 2015年度 研究員の活動状況

研究員のみなさまには上記サロン以外にも、大学における多岐に渡る活動に協力を頂いています。

プロジェクト研究活動への協力	2015年度前期及び後期授業に外部講師として参加	その他、活動への協力
岩松二郎、大本郁子、小野田美都江、熊坂敏彦、下村源治、杉本宏、鈴木實津彦、高畑正、段谷憲、辻村貴典、鶴沢真、豊永真美、藤村成弘、矢代晴実、水野満	秋鷹こず恵、秋森陽子、池田清華、岩松二郎、大本郁子、木村行雄、熊坂敏彦、久米ナナ子、古田士俊男、小松裕長、崔真淑、齋藤訓之、治部れんげ、末川久幸、鈴木清江、竹中哲也、西川有加子、堀内美紀、松本考史、宮脇啓透、柳川伸二、山野浩、渡邊慎一	・秋桜祭 パネル展示研究発表 岩松二郎、白田明子、大本郁子、小野田美都江、熊坂敏彦、杉本宏、鈴木宏幸、高畑正、段谷憲、辻村貴典、鶴沢真、矢代晴実 ・地域連携センター 鈴木清江、堀内美紀、山野浩、矢代晴実
学生のインターンシップ先の紹介	企画委員として活動	
青山大蔵、井上岳久、岩松二郎、熊坂敏彦、古田士俊男、佐野良伸、山口理栄	段谷憲、岩松二郎、鈴木宏幸、宮脇啓透、矢代晴実	

「昭和デザインオフィス」は、プロジェクト学習推進組織として、全学の学生・教員に開かれた研究施設として設置されています。学内のプロジェクトを統括し外部団体に対してはプロジェクト申請の窓口となる組織であります。大学のカリキュラムと関連するプロジェクトや企業や地域と連携したプロジェクトあるいは大学から外部に発信するプロジェクトまで多様に推進しています。プロジェクト研究に取り組む学生の教育・学習支援を行うアクティブラーニングの活動拠点でもあります。

「昭和デザインオフィス」は、企画、デザイン関連の教員が中心となって指導し、各学科の教員と学生のデザインを介しての交流を行うことを一つの目的と考えております。機器・設備面も最新の企画・デザイン関連の施設を導入し、実社会のオフィスと同等の業務を大学内で行っていくことがこのデザインオフィスの目的です。

平成27年度認定プロジェクト

プロジェクト名	コラボ先 < 担当教員 >
<p>1 渋谷センター街七夕まつり</p> <p>横浜・カイバー 洋館活用関係者交流プログラム</p> <p>渋谷桜丘町づくり-Beyond 246-</p> <p>SWeets dream -setagaya-</p> <p>H(health)&amp;B(beauty)メニューの提案</p> <p>まちおこし応援プロジェクト 三軒茶屋 一学生による第3回よいしょ祭り、第2回ふれあい三茶祭り 他の企画・広報・運営及び、地域とのコラボレーション</p> <p>三茶・三宿まちなかプロジェクト2015</p> <p>フロアホッケー昭和女子大学せたがやウッキーズ</p>	<p>渋谷センター商店街振興組合&lt;友田博通&gt;</p> <p>横浜市緑の協会、カイバー市観光課、国際交流基金・国際文化研究所&lt;友田博通&gt;</p> <p>渋谷桜丘町会、駅前共栄会&lt;友田博通&gt;</p> <p>昭和信用金庫、鳥屋商店&lt;石井幸江・原正美&gt;</p> <p>(株)ディー・アール・シー、(株)フジラント&lt;石井幸江・清水史子・不破真佐子&gt;</p> <p>三軒茶屋銀座商店街振興組合&lt;木村信之&gt;</p> <p>三軒茶屋まち道業実行委員会、太子堂商店街、三宿四二〇商店会、世田谷パン祭り実行委員会、下の谷商店街、下の谷町会&lt;前田佳子&gt;</p> <p>[協働] せたがやウッキークラブ(協力) 特定非営利活動法人日本フロアホッケー連盟、公益財団法人スペシャルオリンピックス日本、NPO法人勇氣の翼インクルージョン2015、株式会社エフビコ &lt;渡辺剛・小森重紀子&gt;</p>
<p>2 Infield(ation) (インフィールドエデュケーション) プロジェクト</p> <p>アクティビシニアをターゲットとした加工食品の共創</p>	<p>株式会社インフィールドデザイン&lt;天笠邦一&gt;</p> <p>新田ゼラチン株式会社&lt;高尾哲也&gt;</p>
<p>3 ゆうきのつばさ ANNIVERSARY EVENT 2015</p>	<p>NPO法人勇氣の翼インクルージョン2015、inclusion award 2014実行委員会、株式会社チャコット、公益財団法人スペシャルオリンピックス日本 他&lt;小森重紀子&gt;</p>
<p>4 昭和女子大学×資生堂共創プロジェクト</p> <p>スポーツイベントin 昭和</p> <p>美カフェin望秀</p>	<p>株式会社資生堂&lt;久新正治・小川睦美・小森重紀子&gt;</p> <p>株式会社スポーツプロダクト、読売巨人軍トレーナー岩上光洋氏&lt;小川睦美・白川哉子&gt;</p> <p>館山市、館山市教育委員会&lt;小川睦美・白川哉子&gt;</p>
<p>5 木曾漆器デザインプロジェクト</p> <p>耀け☆健康美プロジェクト @P&amp;B(パティスリー&amp;ブーランジェリー) Japan</p> <p>せたがやウッキークラブ創立10周年記念イベント</p>	<p>財団法人塩尻・木曾地域地産産業振興センター&lt;桃田靖子&gt;</p> <p>日本イージェイ株式会社&lt;小川睦美&gt;</p> <p>[協働] せたがやウッキークラブ [協力] ハーモニージャパン株式会社、近畿日本ツーリスト株式会社&lt;渡辺剛・横山文樹&gt;</p>
<p>6 IID展示計画プロジェクト</p> <p>BMW Motorrad × SWU -Color Design Project-</p> <p>渋産 -シブサン アクリル プロジェクト-</p>	<p>IID 世田谷ものづくり学校&lt;金子友美&gt;</p> <p>BMW Motorrad Japan&lt;橋本央&gt;</p> <p>有限会社アクリアル&lt;橋本央&gt;</p>
<p>7 はこじよ創造プロジェクト2015</p> <p>カラーゲン美容市場リバイタリゼーションプロジェクト2015</p> <p>ホンノバ・プロジェクト</p> <p>株式会社JALカード Navi 入会促進企画プロジェクト</p>	<p>一般社団法人はこねのもりコンソーシアムジャパン(はこねのもり女子大学)&lt;乗袋貞久&gt;</p> <p>新田ゼラチン株式会社&lt;乗袋貞久&gt;</p> <p>NPO @リアス、NPOこれからの建築を考える(伊東建築塾)&lt;杉浦久子&gt;</p> <p>株式会社ジャルカード、日本航空株式会社 路線統括本部マイレージ事業部&lt;船橋晶子&gt;</p>
<p>8 ユニバーサルデザイン 2020プロジェクト</p> <p>学内サイン計画</p> <p>大井町創生大学連携事業</p> <p>昭和ポスターデザイングループ</p>	<p>株式会社ミライロ&lt;船橋晶子&gt;</p> <p>学園本部&lt;芦川智・金尾朗・綾園靖子・金子友美・田村幸介・橋本央&gt;</p> <p>神奈川県、大井町&lt;芦川智・石井幸江・小川睦美・瀬沼頼子・金子友美・前田佳子&gt;</p> <p>昭和女子大学キャリア支援センター&lt;木村信之・中田士郎&gt;</p>
<p>9 ハヤカワ文庫プロジェクト</p> <p>Kandu リポーター増加企画プロジェクト</p> <p>高山ランドビルイベントランスデザインコンペ</p> <p>若年性認知症にやさしい地域づくり</p> <p>三茶さんちを楽しもう!プロジェクト</p> <p>手をつなごう♪下馬福祉工房&amp;福祉社会学科コラボカフェ</p> <p>三軒茶屋の居場所ありず</p>	<p>早川書房&lt;太田幹子&gt;</p> <p>株式会社 カンドゥージャパン&lt;船橋晶子&gt;</p> <p>高山ランド株式会社&lt;金子友美&gt;</p> <p>若年性認知症家族会・影屋の会&lt;古田輝美&gt;</p> <p>三軒茶屋銀座商店街振興組合他&lt;瀬沼頼子&gt;</p> <p>世田谷区立下馬福祉工房&lt;渡辺剛&gt;</p> <p>世田谷区子ども・若者部若者支援担当課&lt;山崎洋史&gt;</p>

